

太陽の光あふれる須崎から、

太陽光発電のちからを世界に

まち

平成14年3月に閉鎖された松下寿電子工業須崎工場の跡地（妙見町）に進出したエム・セテック（M・SETEK）株式会社が、今年の4月から操業を開始しました。

エム・セテックという会社、一般にはあまり名前を耳にすることがなく、須崎市民の皆さんにとってもなじみのないものかもしれません。太陽光発電用の単結晶シリコンウエハーを製造する会社で、平成15年9月期の売上高は89億円、その業界では国内では最大手、世界シェアでも5本の指に入る会社です。

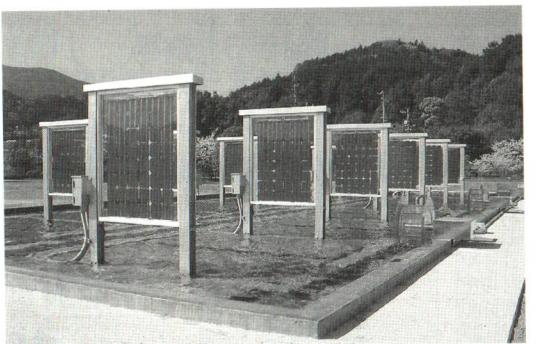
この、須崎市の地域経済にとっても大きな起爆剤となりうるエム・セテック社について、ご紹介します。



→松下寿電子工業跡地で操業を開始したエム・セテック高知工場（妙見町）



エム・セテック M・SETEK 高知 工場が 操業をスタート ～環境に優しい太陽光発電のシリコンウエハーを須崎の地から～



■ 太陽光発電を通じて 地域にも貢献を

須崎市の地域経済や雇用面で大きな役割が期待されるエム・セテックですが、太陽光発電を通じて地域の活性化や一次産業の発展にも貢献したいとも考えています。

現在、エム・セテック高知工場の敷地内の池では、水面反射を利用した両面受光型太陽電池

■ 太陽の恵み あふれるまち須崎

高知県の年間日照時間は全国でも2位と、豊富な日照量を誇っています。もし須崎市のあちらこちらに太陽光発電の施設ができるようになれば、二重の意味で太陽の恵みがあふれるまちとなります。

須崎市はまだこれからですが、そんな太陽の光あふれる須崎市の将来像を思い浮かべると、とても夢のある話ではないでしょ



社員募集のお知らせ

エム・セテック株式会社では、現在、社員を募集しています。詳細については、ハローフリーク須崎（西紀町4番3号☎42-25566）までお問い合わせください。



エム・セテック
高知工場長 高橋 正明

ネギーの技術開発と導入に積極的です。

技術革新の速度も目覚しく、太陽光発電システムの導入は年々増えつつあります。平成14年の太陽光発電システムの累積導入量は10年前の20倍以上にも伸びてあり、今後ますます普及していくだろうと言われています。それとともに、太陽光発電市場も今後20%以上のペースで成長が予想されています。

国の施策では、2010年には、一般家庭の使用電力をまかなえる規模の家庭用太陽光発電システムを100万円程度で導入できるようにし、一般家庭においても太陽光発電の普及を高めようと計画しています。このように、太陽光発電は今後ますます発展し一般的になることが予想され、それにエム・セテックも大きな役割を果たすことになるでしょう。

■ 太陽の恵み あふれるまち須崎

須崎市の地域経済や雇用面で大きな役割が期待されるエム・セテックですが、太陽光発電を通じて地域の活性化や一次産業の発展にも貢献したいとも考えています。

現在、エム・セテック高知工場の敷地内の池では、水面反射を利用した両面受光型太陽電池

システム（下図参照）の実証実験を行っています。このシステムは水面の乱反射を利用するところから、通常の太陽光発電よりも効率が良いそうです。この実験がうまくいけば、休耕田を利用して太陽発電を行うことも可能になります。

また、今年完成した須崎市クリーンセンター横浪の埋め立てリーンセンター横浪の埋め立てが済んだ閉鎖部分に太陽光パネルを設置し、発電した電力を電力会社に売って収益を上げたいといったアイデアも出てきています。

このように、雇用や経済の面だけでなく、太陽光発電を活用した、文字通り明るい活力あるまちづくりにも取り組んでいくたいと考えています。

土佐のいごつそうの心意気に報いる

須崎市の皆さんに、エム・セテックを代表してご挨拶を申し上げます。私たちの会社は太陽光発電用のシリコンウエハーを主に製造しているメーカーです。太陽の光が降り注ぐ南国高知県に、私たちの新たな工場を構えることができたのはとても素晴らしいことであると考えています。須崎市には、さまざまなお条件と快い対応で我々を暖かく迎えていただき、感謝の念に絶えません。

高知といえば、「土佐のいごつそう」のイメージがあります。須崎市には、さまざまな好条件と快い対応で我々を暖かく迎えていただき、感謝の念に絶えません。

戦いを挑んだ土佐の「いごつそう」たちの精神に学び、世界の太陽光発電業界との戦いに打ち勝つべきだと思います。我々を暖かく迎えてくれた須崎市の「いごつそう」の心意気と一緒に報いるためにも、全力を尽くしたいと思います。

同社の単結晶シリコンウエハーは、その名の通り太陽光発電用単結晶シリコン（半導体）ウエハーは、その名の通り太陽光発電システムの重要な部品で、このシリコンウエハーに光を受けることで太陽電池は電気を発生させます。このシリコンウエハーをシャープやサンヨーといった大手の太陽電池製造メーカーに出荷し、それを原材料にして太陽電池パネルが製造されます。

同社の単結晶シリコンウエハーは純度が高く、太陽光を受けて電気エネルギーに変換する発電効率が非常に高いことから引き合いが多く、シャープやサンヨー、日立といった国内大手メーカーだけでなく英BPソーラー

ラーといったヨーロッパの市場にも製品を送り出しています。

■ 発展可能な高知工場

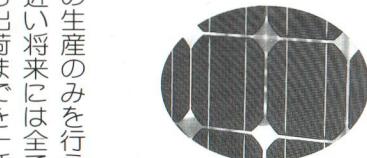
現在、須崎市の高知工場では、自社開発した新型炉3台でシリコンのインゴット（塊）を生産してあり、それを同社の仙台工場で薄く切断してシリコンウエハーにします。年内にはさらに設備を増やし、旧型炉も含め3台の生産体制にする予定で、年間生産量が約145t、出荷額で約25億円を見込んでいます。従業員は今春の卒業生16人を含む27人体制ですが、来春は地元雇用だけで50人体制にするそう

で、須崎市の雇用や経済面でも大きな役割を果たすことが期待されます。

当面、高知工場ではシリコン

のインゴットの生産のみを行う予定ですが、近い将来には全ての生産工程から出荷までを一括して行うことも視野に入れており、将来的に発展が見込めます。

敷地面積にも十分余裕があることから、生産がうまく軌道に乗れば、新たに第2工場の増設なども考えられるそうです。



←エム・セテックの
単結晶シリコンウエハー